熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会



平成27年度笑顔ヘルCキャンペーン写真コンクール奨励賞「お婆ちゃんの笑顔大好き」

CONTENTS

●巻頭言(理事 大林 裕明) ···································	●つどい
● 特集 熊本地震②4	(ボウリング部)
● 理事会報告10	●訃報 ······
● 委員会報告12	●新入会員
(学術)	●会務報告 ·····
● 郡市会報告 ······14	
(天草郡市)	

つどい	15
(ボウリング部)	
訃報	
新入会員	16
会務報告	17

一 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

- 一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。
- 一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者 のために社会的使命を果たすように努める。
- 一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上の ために努める。

公益社団法人 日本歯科医師会

表紙に寄せて

平成27年度笑顔ヘルCキャンペーン写真 コンクール奨励賞の『お婆ちゃんの笑顔大 好き』佐藤吉晴さんの作品です。地震や大 雨で憂鬱な日々が続きますが、この写真の ようにいつも笑顔でいられる平穏な日々が 早く来ることを願って、今回の表紙にしま した。



 $(T \cdot K)$

「学校歯科で思う事…」



理事 大 林 裕 明

平成22年11月「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が制定され早5年半の月日が流 れた。当初本県におけるフッ化物洗口実施小中学校は5校で全体の1.1%に過ぎなかった。 それが学校歯科医、教育委員会、行政、ボランティア等々の御協力の下、平成24年度には3.8 %、平成25年度12.9%、平成26年度70.5%そして、平成27年度にはなんと96.7%の数値を生 み出した。これは驚異的な伸び率だと思う。他県からも賛辞を頂き、進めるにあたっての "コツ"を伝授して欲しいとの依頼に大変嬉しく思う。しかし熊本県は熊本市が政令指定都 市のため2極化している状態なので、この数値は熊本市を除く値となっている。もし県内全 部の小中学校を入れたらおそらく70%程になるのではないかと考えられる。これからは熊本 市と良く話し合い、熊本県全部で100%の値が出せるようにしていきたい。そのためには協 力は惜しまない覚悟でいます。しかし、この頃感じる事は、折角始まったこの事業を続ける ためにはどう伝えて行けばいいのか、である。昨年の年度末に「めざせ!健口から健康へ~ 続けようフッ化物洗口~」と題したリーフレットを県健康づくり推進課と県体育保健課の監 修の下、作成させて頂いた。会員には発送物でお送りするので一読をお願いします。これは 折角始めた小中学校でのフッ素洗口が、良い環境の元行っているにも拘らず学校教員の異動 で上手く伝達事項が行き渡らなかったり、学校行事など諸事情により週1回法が上手く行わ れず、回数が減って効果が期待できない状態になることが一番懸念している所だ。何故継続 して行う必要があるのか?代替日を設けてまで行う理由は?等々もう一度原点に戻り再考す る事も必要だと思う。その様な時にこそ学校歯科医の協力が必要です。宜しくお願いします。 続いて、平成27年度に改正版が出された「学校歯科医の活動指針」より、歯科健診の変更 が伝えられたのは御存知だと思います。今回は内容的なもので混乱を招く所があるので「熊 本県版健診の考え方」を入れて頂いた。これも県体育保健課との協議の元に行っている。詳 しい事は各郡市学校歯科担当者に協議会にて説明しています。又郡市での説明会やくま歯キャ ラバン隊でお話をさせて頂いているので、健診前には養護教諭とよく話し合われて合点の上 執り行って頂きたい。日本学校歯科医会も平成28年4月より新執行部がスタートした。此方 もここ数年で会長が何人も変わりその度に暗い雰囲気での業務が続いていた。全てが解決し たわけでは無いが、学校歯科の基本を忘れずに邁進して頂きたいと伝えている。基本は「子 供の健康を守る!」ただそれだけが学校歯科医として、歯科医師としてのあるべき姿だと自 分は思っている。

少しずつ少しずつ進歩していく学校歯科をこれからも宜しくお願いいたします。 ※この原稿を書いたのは熊本地震前でした。ここに被災された方々に御見舞い申し上げます。

H.28.7 熊歯会報

特集 膨水温②

御船町、西原村における歯科支援活動

御船町

4月23日で避難所33ヶ所、避難者数2,008 名を数えたが、4月28日には避難所23ヶ所に 集約され、避難者数は1,311名となった。水道 の復旧とともに地域の歯科医院が機能していた こともあり。御船地区では山間部に孤立する公 民館などの避難所へのアプローチから始めた。



公民館避難所で義歯調整



道に倒れた竹などを片付けながら避難所へ向かう

発災当初より、地元太田宜彦歯科医師に同 行し、飯塚病院牟田晃洋歯科医師と神浩介歯 科医師と熊大チームが活動していた。御船町 保健センターの保健師の指示のもと各避難所 を巡回することになったが、道路崩壊箇所が 多く、迂回せざるを得なく困難を極めた。



間所避難所で野田和宏会員

毎日毎日、状況の変わるなか保健センター より避難場所一覧表(表1)が配られ、それ



福祉避難所で牟田歯科医師と県歯太田チーム

表 1 御船町避難所 巡回状況一覧

場所 日中 夜 所書被答 環境 口腔 電気 水道 1 脚船小体育館 145 ● 0 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	平成28年 4 月28日現住						_				
中 校	ŕ	備考	ライン状況	ライフ		衛生			L		
2 郵船中学校体育館 181			水道	電気				夜	日中	場所	
3 カルチャーセンター 145 ● 1階 和室 ○ 2.4 和室 ○ 1 和室 ○ 1 和室 ○ 2.4 和室 ○ 1 和室				0	•	•	•	145		御船小体育館	1
3 カルテヤーモノター 143 和窓			0	0	•	•		181		御船中学校体育館	2
5 木倉小体育館 20 101 消毒液のみ 24日 23日 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		2 F和室 感染部屋	_	0		•	•	145		カルチャーセンター	3
5 本会小体育館 20 101 消毒液のみ 24日 23日 ○ 6 七滝中央小体育館 35 70 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	高い	人口密度高	0	0		•	消毒液のみ	250	50	スポーツセンター	4
7 小坂小体育館 15 (東中泊館)			0	0			消毒液のみ	101	20	木倉小体育館	5
15			0	0	•	•	•	70	35	七滝中央小体育館	6
9 両本倉公民館 11 11 消毒液のみ 24日 ○ × 10 福祉避難所 21 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			0	0		•	•		15	小坂小体育館	7
10 福祉選集所			0					30	10	ふれあい広場	8
11 報准還公民館			×	0	● 24日	• 24日	消毒液のみ	11	11	西木倉公民館	9
12 朱倉公民館 5 22			0	0				21		福祉避難所	10
13 解始高校 4月21日~ 67 4 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 1							•	20	10	西往還公民館	11
4月21日~ b'			0	0			•	22	5	木倉公民館	12
15 水越小学校 2 20 • ○ ○ · · · · · · · · · · · · · · · · ·							•	67			13
北田代公民館			一時中断中	0		•	•	15	2	田代東部公民館	14
16 北田代公民館 30 60			0	0			•	20	2	水越小学校	15
4月28日閉鎖 50 50 0					•	•	•	60	30	北田代公民館 4月28日閉鎖	16
17 屋敷公民館 20 42 ● ●					•	•	•	42	20	屋敷公民館	17
18 水源消防詰め所 2 夜は緑の村 消毒液のみ							消毒液のみ	夜は緑の村	2	水源消防詰め所	18
19 川内田 28								28			
20 三間伏公民館 2 33 ● ● ○ ○			0	0		•	•	33	2	三間伏公民館	20
21 緑の村 0 10 ● ● ○ ○			0	0		•		10			
22 玉虫住宅南 2 10 ● ×			×				•				
23 間所 11 25 高齢者か	多い	高齢者が多						25	11	問所	23

- 保健センター
 西嶋保健師

 A. 県歯チーム
 宮坂・太田地域リーダー

 B. 熊大チーム
 C. 飯場病院

 4田リーダー

を埋めていく活動になった。歯科支援チーム からの避難所アセスメントも重要な情報源と して、保健センターに報告した。4月30日 (土) をもって太田宣彦歯科医師をリーダー とした地元歯科医に活動を引き継いだ。6月 中旬からは避難所が御船町スポーツセンター に集約されることになると、支援方法の再構 築もありうる。



避難所が6月より統合される

西原村

人口7,049人2,652世帯の西原村は全棟数の35%が全半壊、死者5名という被害を被った。6ヶ所の避難所人数は799名(5月5日現在)であった。2箇所の村内歯科医院はダメージが少なく、県歯地域保健担当赤尾理事も被災されたが地域リーダーとして避難所巡回に参加された。赤尾理事と桑田歯科医師は県歯チームと同行し、避難所の歯科治療に尽力された。地元かかりつけ歯科医師に声をかけられると安心する多数の避難者がいた。



地元歯科医師が巡回すると安心の声が漏れる



駐車場にタンクとポンプを設置し診療を再開

役場はライフラインの復旧、仮設住宅建設、 災害事務に従事する職員の不足、二次災害へ の対応、生活基盤・社会基盤の復旧、財源確 保を課題として、被災者への対応は、他県職 員、自衛隊、民間ボランティアなどに大きく 委ねられていた。現場の混乱がつづき会議は 終了しない、歯科のニーズはあがっていない



南阿蘇をバックに山口県チームと中久木コーディネーター



地元国会議員にも口腔ケアの大切さをアピール

という判断もされた。避難者に寄り添い、聞き取りを進めていくうちに義歯紛失や何日も 入れ歯を洗っていないなどの訴えを聞くこと ができた。歯科支援は村内歯科医師の介入に よりスムーズに行われるようになった。

5月8日から22日までは山口県歯科医師会チームに支援を引き継ぎ休日には県歯会、地元歯科医師でフォローする形となった。22日をもって歯科医療チームの撤退と地元歯科医師への引き継ぎを行った。今後は仮設住宅への健康支援を地元歯科医師と県歯会で見守っていく予定である。

現場よりの雑感と感謝

専門分野の支援を通じて、他職種との連携 の必要性など、ここに書けないくらいの体験 をさせてもらったと思っている。避難所支援 は誰でもヒーローであり、誰が何をしたとい うことではないと思う。

県歯科衛生士会も頑張ってくれた。待機していただいた歯科医師、名前の出てない歯科 医師、それも支援です。

地道な支援の方々が多い中、現場の仕切り 屋がいたことは確かだ。話をややこしくする ことだけは避けていただきたいと思った。

日歯派遣の中久木康一災害歯科コーディネーターの「振り返ったらそこに支援者がいた、 そんな支援がいいですね。」という言葉が思 い起こされる。被災者が優先です、そっとい つまでも寄り添う支援が今後も続くだろう。

(副会長 宮坂 圭太)

南阿蘇村歯科支援活動報告 "起"の章

≪活動ポイント:最小律の法則≫

リービッヒの最小律とは「植物の生長速度 や収量は、必要とされる栄養素のうち、与え られた量のもっとも少ないものにのみ影響さ れる。窒素やリンなど必須なものがひとつで も足りないと、他のものをいくら増やしても 成長しない。」というもので、中学か高校の 理科で学習したことを覚えている。

南阿蘇村では様々な団体が続率のとれた支援活動を行っており、全般的にはかなりうまくいっていたと思われるが、4月24日の時点でノロウィルスやインフルエンザの発生が多少あり、その点が課題となっていた。

そうした状況のとき、外部の目 (特にマスコミ関係) は全体を見ずに、最もうまくいっていないところに焦点をあてて全体を評価する傾向にあるようだ。つまり、南阿蘇村での支援活動の報道に最小律的な作用が働いたように、当時の私には感じられた。

南阿蘇村でのノロウィルスやインフルエンザの封じ込み活動とそれに対する報道の経過を、全体を統括する松本医師(全体コーディネーター)が冷静を保ちながらも、無念さがこみ上げるのを必死に抑えつつ全体会議の中で説明されたとき、歯科支援活動が全体支援活動の中でマスコミの最小律の対象にならないよう注意を払う必要があると痛感した。

その危機感を九地連の歯科支援チームにも 作戦会議の中で即座に伝え、「歯科が最小律 のターゲットとならないよう、気を引き締め て活動する!」という姿勢は、こののち、歯 科支援チームの中に広く浸透していったよう に思える。

< 九地連歯科支援チームの構成>

第1班:チームリーダー 太田秀人歯科医師 (福岡県歯科医師会)

> 福岡県歯科医師会・福岡県歯科衛生 士会(4月23日~5月1日) 九州大学歯学部・九州歯科大学

ル州大学選学部・ル州圏科大学 (4月23日、24日)

福岡歯科大学(4月25日~5月1日)

<現地コーディネーターの任務>

- ①九地連歯科支援チームが南阿蘇村に入るまでに、歯科支援チームが他の支援チームと連携して活動するための環境を整えておく(4月22日の時点で完了)
 - ・対策会議には立ち上げ当初から参加し、

歯科の存在をアピールする

- ・対策会議の全体的な流れを把握し、歯科 支援チームに伝達する
- ②「地元の歯科医師がどのような歯科支援を受けたいか」を支援チームに明確に伝える南阿蘇村の歯科医師に加え隣の高森町の歯科医師にも相談しながら「地元歯科医師が受け入れることのできる歯科支援の形」を模索した。それを取りまとめたものが「南阿蘇村歯科支援活動の基本方針(九地連歯科支援チーム 行動方針)」である。(6月の会報に掲載)この基本方針を地元歯科医師に示すことで、当初県外歯科支援チームの受け入れに慎重姿勢だった会員の理解がすすんだ。この基本方針の骨子は下記のとおりである。
 - ・活動の目的を「地域住民支援」に加え、 「会員診療支援」を前面に打ち出した
 - ・地元歯科医師の最大の役割は自分の歯 科診療所を可及的に早く復旧し通常診 療を行うこと
 - ・歯科支援チームは各避難所の歯科ニーズを洗い出し、必ずかかりつけ歯科医に繋ぐこと
 - ・避難所での応急処置後、地元歯科医師 に歯科ニーズをつないだ時点で問題解 決とする
- ③ 活動目標(アウトカム)を設定する 活動目標(アウトカム)については協議の 中で下記のように設定された。
 - ・誤嚥性肺炎による災害関連死をゼロにする
 - ・誤嚥性肺炎の発症率を地震発生前後で 同レベルにする

<ミッション>

「地元歯科医師が望む歯科支援の形」と 「活動目標」を達成するために支援チーム第1 班に課せられたミッションは下記の3つである。

- ①避難所全員のアセスメント
- ②要援護者対策(要介護施設等でのアセスメント)
- ③誰でもできる、仕組み作り
- <実際の活動>

九地連派遣チームは、毎日2回(9時、16

時)本部で開催される「南阿蘇村·高森医療救護部対策本部会議」に必ず出席して多職種との連携を図りながら任務を遂行した。(写真1)



朝の会議(さあ、今日もがんばりましょう!)後ろ真ん中は滋賀県の井下歯科医師

4月23、24日に、福岡県歯科医師会・九大・ 九歯大合同チームが滋賀県の井下歯科医師の 同行下で12避難所(避難者総数902人)と1介 護施設(陽ノ丘荘:避難者総数72名)に対し て「レベル2口腔アセスメント(歯科専門職 による集団的評価)」を実施した。その結果を SA(最重要対応)、A(重要)、B(注意)、C (観察)とレベル分けし、翌日以降に「レベル 3口腔アセスメント(歯科専門職による個別 的評価)」を行い、必要に応じて歯科治療、口 腔ケアへと進む予定とした。(写真2)(写真3)



アセスメント結果をSA・A・B・Cの4段階に区分 ピンクは未解決 緑は解決した案件



塩崎厚生労働大臣に活動説明する支援チームの加藤歯科医師(福歯大)

4月25日に合流した福岡歯科大チームは、 災害弱者である老健施設入居者のアセスメントと口腔ケアだけでなく、摂食嚥下機能に問 題のある高齢者・障害者の口腔アセスメント および嚥下機能評価・指導さらには栄養評価 と、派遣歯科医師の専門領域を生かした活動 を行った。(写真4)



陽の丘荘にてアセスメント実施(福歯大チーム)

特に現地入り当初、「断水、停電、職員疲弊」という危機的状況であった陽ノ丘荘に対しては、まずは経管栄養および誤嚥のリスクの高い入居者の口腔ケアを毎日行い、次週以降は口腔ケア回数を週2日に減らしていきつつ、徐々に本来の地元訪問歯科担当医の往診復帰まで繋げる方針を立てた。

4月24日、29日、5月1日の休祭日には、地元南阿蘇村及び高森町の地元歯科医師有志や熊本県歯科衛生士会有志も加えた混成チームとして、積極的に避難所、介護施設の口腔ケア・応急処置と、地元歯科医療機関への紹介、介護施設における摂食嚥下評価・口腔ケアなどを行った。(写真5)(写真6)



JMATの仮設診療所での歯科支援活動 報告書を作成中の隈井会員(南阿蘇村)



日赤のエアーテント内で活動する九地連チームと熊本県歯科衛生士会

以後、避難所のみならず、村内に存在する 12の介護施設、40か所あまりの公民館・集会 所、保育所等へも情報を入手次第、介入を実

施した。さらに、隣の高森町の3介護施設に対する介入の要望が上がり、施設や協力歯科医と連携しつつ進めることになった。一連の歯科支援を活動通じて、下記のような「誰でもできる、仕組み」が構築された。

【難所に対する介入方法】

- ・レベル2アセスメント→レベル3個別 アセスメントの実施
- ・口腔ケア十応急処置と地元歯科医療機 関への紹介

【介護施設に対する介入方法】

- ・レベル2アセスメント→レベル3個別 アセスメントの実施
- ・口腔ケア十職員等への技術指導と協力 歯科医への引き継ぎ

以上、歯科医師会と大学という組織の合同チームというだけでなく、JMAT、行政なども含めた多職種連携により、南阿蘇村の大多数の住民の口腔アセスメントを行い、地元歯科医師・歯科衛生士との協働による被災者の口腔トラブル解決とその予防まで辿り着くという仕組みの構築への道筋が見えてきた。(写真7)(写真8)



JRAT(災害リハビリテーションチーム)の人達が歯科ブースを訪問(朝の会議)



27日の活動を終えて夕方の会議 JRATと合同の検討会を実施

4月23日の九地連チーム現地入り以来、毎日の合同ミーティングにて九地連チームからの詳細な行動報告により歯科の評価は上昇し、数日後からは、JMATやJRAT、保健師などとのミーティングにも呼ばれるようになってきた。(写真9) 九地連チーム第1班による4月23日から5月1日までの歯科支援実績は、表1のとおりである。(表1)



JMATと支援活動について協議する福岡歯科大チーム

当初心配された「歯科が最小律のターゲットとなることの懸念」は九地連チームや地元 歯科医師・歯科衛生士等の活躍により完全に 払拭され、全体の支援活動がうまくいくため に歯科は必須との認識が急速に広がった。

(田上 大輔)

表 1

衣 I									
	日	月	火	水	木	金	土	日	
活動内容	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	合計
アセスメント	223	122	29	23	14	215	29	8	663
歯科治療	0	2	9	6	2	4	6	1	30
歯科相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔ケア	15	9	19	9	10	15	26	6	109
保健指導	0	7	40	12	2	5	20	0	86
嚥下評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嚥下リハ	0	0	0	0	0	0	1	0	1
摂食指導	0	0	5	0	0	0	2	0	7
環境アセスメント	0	0	0	1	0	0	0	0	1
物資・環境整備	0	0	1	2	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	1
地元医療資源へ	0	0	0	3	0	2	0	0	5

熊本県歯科衛生士会活動記 ①

4月14日の前震、16日の本震と大きな揺れだったにも関わらず、被災したという感覚もないまま会員の安否確認をしている時、県歯科衛生士会の福本会長から県歯科医師会の災害対策会議に代理で出席してほしいと連絡があった。

急いで益城町と阿蘇の現地コーディネーターを引き受けてくれる会員を探し、会議に出席をした4月18日月曜日。この日が県歯科衛生士会が災害支援のための活動に取り組みはじめた日となった。

それからは、地震で足の踏み場もなくなった歯科衛生士会事務局の代わりに県歯会館を使わせていただきながら県歯科医師会の方々と打ち合わせをし、4月23日(土)・24日(日)の県歯科医師会避難所派遣業務への協力準備をすすめていった。

メンバーは、被災をしていない山鹿市支部の会員と理事に協力を依頼し、23日に歯科衛生士4名、24日に7名を西原村、御船町、甲佐町、益城町総合体育館に派遣し、診療補助、歯科保健指導、口腔ケア等を行った。

私は、御船町の巡回のお手伝いをさせていただいた。保健師さんにナビをしてもらいだろうとの橋から落ちたら見つからないだろうところを過ぎて辿り着いた避難所には高齢者が多く、義歯調整、口腔ケアをとは高齢者が多く、うと重したな遠いところもりがとう。ご飯を食べて行ってください。」と言っていただいた。カップラーメンの匂いに、思わず呼ばれそうになったが車中でおにぎりを食べ、行ってよかったと言いながら御船町保健センターまで帰った。

益城町総合体育館最終日である5月8日



「ピンクのベスト着てます」

(日) までにこ の事業に協力を した歯科衛生士 は、延べ52名で あった。



かを行い、笑いも ありとても好評で あった。

熊本市から依頼 を受けた福祉避難 所 2 施設、介護老 人保健施設 2 施設 での活動は、延べ

24名の歯科衛生士が口腔ケア及び歯科保健指導を行い、南阿蘇村では、4月24日から延べ21名の歯科衛生士が九地連歯科支援チームの方々と共に活動をし診療補助、口腔ケア、啓発活動、物資の補充等を行った。

菊池郡市では現在も歯科医師会との活動が 続いている。

また県歯科衛生士会の活動として、益城町には、4月27日(水)から現地コーディネーターとして2名を配置し、避難所状況の把握、巡回歯科保健指導、歯科医療へのつなぎ等を行った。1日の活動を終えて記録をしていると、ベストを着ている私たちに「お疲れ様。ありがとう。」と、声をかけてくださる地域住民の方々。私たちの想像もできない苦労をされているのだろうと思うと、涙がこみ上げてくる。こんな経験を何回したことだろう。

この益城町での活動は現在も続いており、 保健師、栄養士と連携をとりながら、これま でに延べ80名の歯科衛生士が活動をしている。

これまで日本歯科衛生士会災害支援歯科衛生士熊本県担当としてフォーラムに参加をしてきたが、被災地となった時のことを私自身あまり想定していなかったように思う。

それでも活動ができたのは、たくさんの方の支援があったからこそで、避難所に出かけていく歯科衛生士の支援体制も整わないまま、共に活動をしてくれた会員、また励まし見守って下さった歯科医師会の方々、私たちのわからないところで支えてくださった方々、何よりも勤務時間にも関わらず支援のために時間

を割くことを理解 してくれた院長に 感謝をして、熊本 県歯科衛生士会活 動記①を終わりた いと思う。



「LIFE~目の前の向こうへ~」 (県歯科衛生士会 専務理事 越川 由紀)



日歯はじめ多方面の支援活動に感謝

一第13回理事会一

5月25日(水) 午後7時より県歯会館において、浦田会長他牛島常務理事を除く全役員、伊藤学院長の出席のもと開催された。

開会:宮坂副会長
 挨拶:浦田会長

地震から1ヶ月が経ちました。今日現在、 死者49名、震災関連死が20名、行方不明者が 1名、負傷者が1,676名、建物の被害が98,822 棟、避難所が169カ所、避難者が8.785名、断 水1,200世帯が現在の状況です。まだまだ大 きな爪痕が残っていますが、発災当時に比べ れば、だいぶん落ち着いてきたと言えると思 います。しかし、まだこの数字の避難者がい らっしゃるということで、今後も、引き続き 支援をしていく必要があります。息が長い活 動になりますがどうぞよろしくお願いします。 地震発生後、4月23日から日歯からの人的支 援が始まりました。九州各県の応援に加え、 山口県からも支援をいただきました。この1 ヶ月で、概ね歯科の口腔ケア等のニーズが減っ てきましたので、5月22日をもって九地連か らの支援が終了いたしました。5月22日に最 後の支援をしていただいていた沖縄県と山口 県との解散式をそれぞれ執り行わせて頂きま した。今後は、避難所に対する歯科保健活動 を我々が行うこととなり、県歯科衛生士会と タッグを組んで支援活動を行う予定です。一 旦これで、各県からの支援を打ち切りました が、今後、必要があれば全国に待機されてい る歯科医師が沢山いらっしゃるという話も聞 いておりますので、何かあれば、歯科医師を 含め歯科衛生士の方にも再度支援をお願いす ることとなるかもしれません。長い支援活動 になると思いますので心して取り組んでいき ましょう。また、日歯の支援活動とは別にJ MATで参画して来られている他県の先生方 もいらっしゃいますけれども、概ね5月末を もって支援活動は歯科に関しては終了すると



聞いております。幸いなことに、震災関連死 20名中、私が聞いている限りでは、誤嚥性肺 炎による死亡は発生していません。様々な支 援を早期から実施したことが理由なのか、今 後検証される必要があると思います。東日本 大震災では、まず身元確認作業からでしたの で、2ヶ月近く経って歯科保健、歯科支援が 出来たと聞いています。我々は幸いにも身元 確認ではなく、当初から歯科支援活動を行い ましたし、県外からの支援も1週間で対応す ることができました。これからの活動は、誤 嚥性肺炎で死亡する方を出さないということ が、我々の活動の目的であると思います。そ の実績を残していきたいと思っております。 加えて今後は、被災された会員の方々に対し て、どういうサポートができるかという事だ と思いますので、役員の皆さんもあらゆる知 恵を出していただいて、対応していきたいと 思いますので、よろしくお願いいたします。 本日も、定例の議題等がございますが、報告 等は震災に関することもありますのでよろし くご協議をお願いしまして挨拶と致します。

3. 議長選出:浦田会長

4. 議事録署名人: 久々山監事、西野監事、 浦田会長

5. 平成27年度会務報告:

(自: 4月25日~至: 5月22日)

本会総務:理事会、常務理事会、地震災害対

策本部会議

学 術:救急救命講演会

社会保険:今年度の集団指導・個別指導日程

広 報:会報5・6月号編集・校正 医療対策:医療相談・苦情事例報告

国保組合:理事会

以上、各担当役員より報告がなされた。

6. 報告事項:

- 1. 表彰
 - · 叙勲 瑞宝双光章 緒方 史朗 会員(熊本市) 83歳 4月29日付
- 2. 退会会員
 - ・故 宮島 清子 会員(終身/水俣・ 芦北郡市)92歳 5月4日ご逝去
- 3. 歯牙鑑定の謝金単価変更 警察庁が示した歯牙鑑定に伴う謝金単 価表の中で、パノラマ撮影単価が10円引 き下げられた。
- 4. 地震被害に伴う 4 階ホールの補修工事 地震に伴い 4 階ホールの補修が必要に なったため、工事を行った。
- 5. 平成27年度口腔保健センター運営事業事業実績報告書をもとに報告が行われた
- 6. 広報誌「あゆみ」(熊本県肢体不自由 児協会)への広告原稿 例年通り、協賛し広告を掲載する。
- 7. 事業実施報告書 学術:5月14日(土)「救急救命講演会」
- 8. 会計 4 月末現況

7. 連絡事項:

1. 6月行事予定

8. 承認事項:

1. 新入会員の承認〔承認〕 長野 靖弘 (第1種/菊池郡市)、 赤﨑 幸太 (第1種/熊本市) 計2名の 入会を承認した。

※28年度入会状況 (5月末現在) …第1 種・8名、第2種・2名

- 2. 関係機関・団体からの役員等の推薦依頼 [承認]
 - · 県体育協会財務特別委員会委員/県体 育協会

浦田 健二 会長 任期:平成28年4 月1日~平成30年3月31日 ・県総合保健センター理事/県総合保健センター

浦田 健二 会長 任期:平成28年6 月22日~平成30年度定時評議員会

·日本歯科医療管理学会評議員/日本歯科医療管理学会 牛島隆 常務理事 任期:平成28年 4月1日~平成30年3月31日

9. 議題:

- 1. 平成27年度(有)ケイ・デー・エム・ ユー事業報告及び決算〔承認〕 事業報告案及び決算案について承認し、 6月の定時代議員会で報告する。
- 2. 定時代議員会の報告・連絡・議事・協 議事項〔承認〕

原案どおり承認した。

- 3. 定時代議員会会務報告〔承認〕 修正等があれば、事務局に連絡する。
- 4. 九地連協議会の提出協議題 協議事項があれば、事務局に連絡する。
- 5. 会館使用料金の減額申請〔承認〕 減額申請について了承し、使用料は無 料とする。
- 6. 学院の書庫の購入〔承認〕 地震により現存書庫が破損したことか ら早急に購入する。なお、購入金額につ いては、再度業者と交渉する。
- 7. 部活動補助金交付申請書〔承認〕 前年度と同額で、補助額は2万円とする。
- 8. 義援金給付の前倒し〔承認〕 熊本地震により、特に甚大な被害を受けた15名の会員に対し、集まっている義 援金の一部を前倒しして給付することと した。
- 9. 延期した歯の祭典の開催期日〔承認〕 期日については、11月6日(日)とし 準備をすすめていくこととする。なお、 5・6月に実施する郡市については、例 年どおり協賛企業から提供のあった通常 の物品を送付する。
- 10. 協議事項:
- 11. 監事講評:
- 12. 閉会:小島副会長

(広報 竹下 憲治)



有病高齢者歯科治療のガイドライン 一こんな患者さんが来院したら一

一 救命救急講演会 一

学術

5月14日(土) 午後3時より、県歯会館にて、鹿児島大学医歯学総合研究科歯科麻酔全身管理分野の椙山加網前教授により上記講演が開催された。

清水委員の司会のもと、浦田会長より挨拶 があり講演となった。

最初に、実際に起こった事例を提示され、 i 長崎浸麻後死亡事故22歳(患者は既往症 なしだが、浸麻後舌根沈下による窒息死)

- ii 東京インプラント死亡事故
- iii 埼玉2歳ロールワッテ窒息死

以上特徴的な3例と、85年から6年間で22 人歯科治療時に死亡している。治療に当たる 歯科医師が、しっかり患者の全身状態を把握 し、もしもの時には適切な対応をとる重要性 を説かれた。続いて、歯科治療のリスク上昇 要因について以下4要因について説明された。

1 団塊世代の高齢化

毎年全人口に占める高齢化率は更新され26%を超え、平成24年から高齢化率のスピードが上昇している。これは、いわゆる団塊世代が高齢者と呼ばれる年齢に達したからであり、高齢者は様々な歯科治療に伴う身体的リスク(血圧上昇 ショック 脳梗塞 狭心症 低酸素など)を抱えており、ことに高齢者の92%が循環器系疾患を持っており、代表的な術中合併症である血圧上昇、不整脈(心電図が必要)に注意が必要である。年齢とともに身体機能が低下するが80歳以上高齢者の低下データは存在しない為、いわば未知かつ手探りの状態での配慮が必要である。



237名の参加者

2 8020の推進

平成23年にはいわゆる8020が38.3%達成されている。しかしこのことは、同時に口腔衛生の管理が難しい高齢者において歯科疾患の増加を意味し、80歳以上の高齢者に歯科手術を行う必要が増加することになる。歯科処置時の偶発事故の死因は、小児では窒息であり、高齢者では心不全、脳血管障害である。

3 インプラントの普及

近年、欠損補綴の選択肢としてインプラントを選択されることが増加している。

これは高齢者においても言えることである。 しかしこの場合問題となるのは、埋入時より も除去術をせざるを得ない時で、インプラン ト埋入から年月が経つと、種々の疾患を経験 し、また口腔衛生管理が困難になり、結果、 除去が必要なときには高齢化しており、種々 の全身疾患を持ち、高リスクとなる。

4 在宅歯科医療の需要

在宅患者は高齢者であり、寝たきりである場合が多い。このような患者は生理的予備力が低下している。また寝たきりということは、必ず基礎疾患を持っている。また歯科診療を行う場所はいわゆるアウェイの状態であり、

H.28.7 熊歯会報

救急対応ができにくい。

以上の各項目を通じて、処置中の事故に関 しての責任は全身管理をしない歯科医師にあ ることを強く説かれた。

続いて各疾患についての対応について、以 下の6項目について説明がなされた。

はじめに全身管理とは、呼吸と循環を正常 範囲に維持する事で、救急処置とは呼吸と循 環を正常範囲に戻す事である。

1. 高血圧と歯科治療

Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ度の高血圧分類において

I 度 通常に処置できる。

Ⅱ度 30分毎休憩をとり、長時間の外科 処置や合併症保有者は大学病院等 に紹介が好ましい。

Ⅲ度 応急処置のみにとどめ、大学病院 等に紹介が好ましい。

血圧モニター時の指針として、160mmHg以上で要注意180mmHg以上なら一旦中断すべきである。また、自動血圧計は簡単で正確で、マンシェットの巻き方は、上腕動脈の肘部の小指側肘が出るように、指が一二本入る程度がよい。

高血圧者の術中合併症は血圧上昇による脳 血管障害(脳出血 高血圧脳症)であり、予 防は十分な除痛、精神的ストレスの除去精神 鎮静法(笑気など)である。

高血圧者は180mmHg超えたら休憩

2. 狭心症と歯科治療

心筋の酸素供給と消費量のバランスが重要である。RPP(rate pressure product)を指標とする。(RPP心拍数×収縮期血圧)

CCSの分類に基づくⅠⅡⅢⅣ重症度に従う

I 度 通常通りの治療

Ⅱ度 短時間の歯科治療

Ⅲ IV 度 大学病院等紹介が好ましい

発作時の救急処置として半座位の姿勢をとり、酸素吸入、患者の携帯薬使用、救急車手配。

RPPが14000以上になったら休憩をとる。 目安として収縮期血圧が160mmHgで心拍数が 90,140mmHgで心拍数が100である。

3. 糖尿病と歯科治療

HbA1c6.9%以下であれば通常に処置可能で、6.9~7.4%であれば、短時間の処置にとどめ、7.4%以上であれば応急処置のみにして、大学病院等に紹介が好ましい。

HbA1c値の覚え方として、30足して体温になぞらえて考えるとわかりやすい。

インシュリン注射、経口糖尿病薬服用者は 低血糖に注意すべきで、また糖尿病者は慢性 合併症として血管障害があることに配慮すべ きである。

低血糖時の救急処置は糖分の摂取であり、 高血糖時は救急車を手配すべきである。

4.慢性閉塞性肺疾患(COPD)と歯科治療 喫煙が主な病因であり、COPD患者の処置 時にはパルスオキシメーターの使用が必須で ある。ことに喫煙歴の長い高齢者は低酸素を 起こしやすい。

モニター下で術前のSpO2を維持するが重要で、プローブの装着について、赤い光が出るほうを人差し指の爪に向け、97%以上は正常で95%未満は治療中断し深呼吸をさせ、90%以下では酸素吸入を行う。

5. 甲状腺機能亢進症と歯科治療

甲状腺機能検査値について血中T3,T4、FT3,FT4すべてが正常であれば、通常に処置可能で、T3,FT3が正常で、T4,FT4が高値であれば短時間の処置にとどめ、すべて高値の場合は大学病院等へ紹介が好ましい。また高血圧、頻脈、心房細動を合併していることにも注意すべきである。

緊急時には、座位または半座位の姿勢をとり酸素吸入をして救急車を手配する。

6. ウィルス性肝炎と歯科治療

スタンダードプリコーションの実施の徹底 が重要である。

講演後、小島副会長の謝辞・閉会の挨拶に て講演会は終了した。熊本地震後、初の講演 会であったが237名の参加者を集め、超高齢 社会を迎えるにあたり大変有意義な講演会で あった。

(学術 馬場 一英)

郡市会報告

天草郡市歯科医師会

接遇の重要性を学ぶ

— スタッフセミナー —

5月28日(土) 午後2時より肥後銀行本渡支店においてスタッフセミナーを開催した。講師に野口純佳歯科衛生士をお招きし、優しい笑顔と柔和な話し方に引き込まれた。

今回のテーマは接遇という事で、歯科衛生士、 歯科助手、受付を中心に多数の参加があった。

まず接遇の基本として、患者さんの心理を読み、何を望んでおられるか想像する事がとても 重要で、そのために医院全体で良い雰囲気を作るためのチームワークが必要という事を学んだ。 思いやりを重んじた挨拶、敬語の使い方、表情 の作り方を詳しく教えて頂いた。

さらに医院の顔である受付の電話応対、急患 対応など普段何気なく行っている仕事に対し、 学び直す機会を得られ、大変参考になった。

その後、実践として患者さんと医院の対応の シミュレーションをスタッフと行った。



真剣に聴講する参加者

2時間半の講義はあっという間に終わり、歯 科医療は患者さんという「人」をまず見てそれ から「口」を診るという大切なことに改めて気 づかされ、大変勉強になった。

その後懇親会で、美味しいお酒を飲みながら 講師の熱い信念に感銘を受け、楽しい話で大い に盛り上がった。

(松原 崇士)



会報をもっと気軽に読んでいただけるよう、会員のための投稿コーナーのページを設けることとなりました。趣味はもちろん社会に対して思うこと、娯楽的な映画・本の紹介、紀行、何でも結構です。どしどしご投稿ください。ただし、本会に対するご意見やご要望などは、対外的な広報誌であることから掲載の対象とはいたしません。ご了承ください。ご意見やご要望は、「会長への手紙」にお願いいたします。

また、投稿の内容により掲載できない場合もありますことをご理解ください。

(広報委員会)



井尾治雄会員 2年ぶり「個人戦シニアの部」優勝!

— ボウリング部 —

6月4日(土) 午前10時より大阪市港区「弁天町グランドボウル」にて第48回西日本歯科医師親善ボウリング大会が開催された。今年は大阪府歯科医師会ボウリング同好会主催、大阪府歯科医師会共催、日本歯科医師会後援の大会で、富山県から宮崎県までの2府17県より115名の選手がエントリーし、熊本県からは井尾治雄会員、宮井祐会員、伊藤延隆会員、秋山清の4名が参加した。初日に個人戦、2人チーム戦、翌5日午前9時より4人チーム戦の各3ゲーム合計9ゲームを投球し、その後成績上位選手によるオールエベンツ戦3ゲームが行われた。熊本県の成績は、次の通りであった。



やや緊張気味の面々

・個人戦シニアの部

優勝 井尾 762 (3 ゲーム)

・2人チーム戦

13位 井尾・秋山ペア 1247 (3 ゲーム)

・4人チーム戦

13位 熊本県A 2291

2291 (3ゲーム)

・個人総合シニア

3位 井尾 2647 (12ゲーム)

4人は3日午後8時30分の新幹線で熊本を発ち、宿泊先のホテル大阪ベイタワーにチェックインしたのは翌午前0時過ぎであった。初戦の個人戦、井尾会員はいつものように快調な滑り出しで、隣のレーンで苦戦中の秋山に一言アドバイス。直後から秋山もストライク

を連発しだし、これに伊藤会員、宮井会員も 追従する展開となった。2人チーム戦は、井 尾、秋山ペアが基準の1200点を越すものの、 入賞ならず。宮井、伊藤ペアも苦戦を強いら れ、終盤でようやくストライクを連発するも 序盤のスコアが響いた結果となった。初日の 夜は、宿泊ホテルで盛大に懇親会があり、震 災後にもかかわらず参加を果たした熊本県チー ムに、お見舞いと激励の言葉が送られた。

翌日の4人チーム戦は、先陣の秋山が手堅い投球で確実にスコアを重ね、続く伊藤、井尾、宮井会員も熱の入った投球を見せたものの、入賞には届かなかった。この日は、エースの井尾会員がアプローチの感触に苦しみ(靴底とレーンのすべり具合)、下半身を使ったダイナミックな投球を見せることができなかった。シニアの部1位でエベンツ戦に進んだ井尾会員は、奇しくもアプローチに苦しん

だ4人チーム戦というでは人子ーム戦というでは人子ーム戦というでは、78ピン差のというでは、3位の選手にとなったとはではないが、3位のは大きになった。第二のは、10月のがは、10月のでは



(秋山 清) 個人戦シニアの部で 優勝した井尾会員

ご 訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



宮島 清子 先生 平成28年5月4日ご逝去 92歳

●郡 市 名:水俣・芦北郡市 ●入会年月日:昭和35年4月1日



原田 栽志 先生 平成28年6月7日ご逝去 70歳

●郡 市 名:八代

●入会年月日:昭和50年6月26日



①今もっとも関心のあることを 教えてください。

②自分が希望する歯科診療とは どのようなものだとお考えで すか。

③他の歯科医院にはない自分の 医院の特色を教えてください。

④今後の抱負を教えてください。



長野 靖弘 (ナガノ ヤスヒロ)

合志市野々島4787-18

長野歯科医院

①数年前より、オクルージョンの奥深さがわかり、おもしろくなってきました。

又、最近では、インフェクションコントロール (院内感染防止対策) に関心があります。

②『小さなむし歯から介護の方まで、あなた のお口の健康をサポートします』

小児から高齢者まで、すべての年齢層に 関わることができる医療というのは、歯科 だけだと思います。

ホームデンティストとして、歯科を通して、患者さんの健康に寄与できればと思っています。

③訪問診療を行っていますので、外来で行った治療が、介護状態になった時どうなるか、目のあたりにしています。患者さんの口腔内が、無言で私の評価をしてくれます。

又、診察室内での歯科だけでなく、いろんな施設、居宅で、多職種の人やご家族と、連携、コミュニケーションを取ることができます。

④スタッフ、患者さん、自院の三方が良くなればと思っています。これに、地域、環境の五方も良いのが理想です。

第1種会員



赤﨑 幸太 (アカサキ コウタ)

熊本市南区十禅寺2丁目8-45

あかさき歯科口腔クリニック

①全身疾患を有する患者に対する他科担当医 との情報共有、連携と、正確で安全な処置 および咬合再建までの治療法

②清潔で安心できる医院と、十分な説明と同 意の上に基づく治療

③安全な外科処置、精密な治療を目指します。

④一次医療機関として、地域医療の一端としての役割を担い、地域の住民の方に支持されるかかりつけ医を目指します。











自 平成28年4月25日 至 平成28年5月22日



所管	日付	摘要	出席者		
		UKデンタル社長との面談	浦田会長		
	4月26日	職員に対する震災激励挨拶	浦田会長、渡辺専務理事		
	17,12011	熊本地震に伴う益城町歯科医院連絡協議会 (1) 各医院の被災状況と今後の診療、再建予定 (2) 益城地区の歯科医療のあり方 (3) 益城地区避難所での歯科医療、保健活動のあり方 ほか	浦田会長、小島・宮坂副会長、渡辺 専務理事、八木・牛島常務理事		
	27日	第12回理事会 【承認事項】 (1) 新入会員の承認 (2) 熊本県学校保健会の理事・評議員 (3) 会議室の使用依頼 ほか 【議 題】 (1) くまもと歯の健康文化賞委員会委員の選考 (2) 定時代議員会開催までのスケジュール (3) 日本歯科医師会選挙人及び補欠選挙人の選出方法 ほか	浦田会長他田上常務理事を除く全役 員、伊藤学院長		
		第 6 回地震災害対策本部会議 (1) 避難所の歯科保健医療活動 (2) 会員の救済	浦田会長他田上常務理事を除く全役 員、伊藤学院長		
	30日	久々山・西野監事			
	5月2日	モリタ取締役との面談	浦田会長		
		第20回常務理事会 (1) 新入会員の承認(2) 定時代議員会の報告・連絡・議事・協議事項 (3) 地震被害に伴う 4 階ホールの補修工事 ほか	浦田会長他田上常務理事を除く常務 理事以上全役員		
	6 日	第7回地震災害対策本部会議 (1)県歯会費等の口座引き落とし猶予 (2)日歯福祉共済保険/県歯共済互助制度に係る指定物件の全壊した場合の手続き (簡略措置) ほか	浦田会長他田上常務理事を除く常務 理事以上全役員		
	11日	第775回支払基金監事会(支払基金)	浦田会長		
		兵庫県歯会澤田会長・中尾副会長来館、避難所視察	浦田会長、渡辺専務理事、牛島常務理事		
総 務	13日	第8回地震災害対策本部会議 (1)災害対策本部担当割改変(2)今後の益城地区の活動 (3)今後の九地連支援チームの派遣 ほか	浦田会長他20名		
		くま歯キャラバン隊 (八代) (八代歯会口腔保健センター) (1) 正確なレセプト請求のポイント 受講者:45名	清水委員長		
		和田精密歯研社長との面談	浦田会長		
	14日	菊陽病院との打合せ 日本学典日本会社 日本学和学科	牛島常務理事、宇治理事		
	15日	日大歯学部同窓会熊本県支部総会 (アークホテル熊本城前) 熊本地震による重度被災会員個別相談会	小島副会長 小島副会長、八木常務理事、宮井理		
	16日	熊本地震による重度被災会員個別相談会	事 小島副会長、八木常務理事		
	17日	熊本地震による重度被災会員個別相談会	小島副会長、八木常務理事、宮井理事		
	18日	第1回副会長会議 (1) 平成28年度表彰候補者 (2) 平成29年春の叙勲候補者	浦田会長、小島・中嶋副会長		
		第21回常務理事会 (1) 部活動補助金交付申請書 (2) 平成27年度(有)ケイ・デー・エム・ユー事業報告及び決算 (3) 義接金給付の一部前倒し ほか	浦田会長他宮坂副会長及び渡辺専務 理事を除く常務理事以上全役員		
		第9回地震災害対策本部会議 (1)22日の解散式(2)国の災害補助金に対する要望書	浦田会長他宮坂副会長及び渡辺専務 理事を除く常務理事以上全役員		
		沖縄県歯会との打合せ	牛島常務理事		
	21日	南阿蘇地区派遣チーム解散式(高森町)	田上常務理事 浦田会長、渡辺専務理事、八木・牛		
	22日	沖縄県歯会支援チーム引継ぎ・解散式	島常務理事 浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理		
		山口県歯会支援チーム引継ぎ・解散式	事、八木・牛島常務理事 浦田会長、小島副会長、井上理事、		
学 術	5月14日	救急救命講演会 受講者:237名 講師:椙山加綱 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔全身管理学分野前教授	堀川委員長他全委員		
	4月25日 5月6日	九州厚生局・県庁との打合せ レセプトチェックセンター (荒尾市)	浦田会長、中嶋副会長、田中・椿理事 田中理事		
社会保険		相談者:0名 社会保険小委員会			
	9日	(1) 保険診療ハンドブックの校正 玉名郡市歯会社会保険研修会(玉名市文化センター)	田中·椿理事、清水委員長他3委員 椿理事		
	11 H	古名郡中國会社会保険研修会(古名中文化センター) 広報委員会			
広 報	5月11日	(1) 会報5・6月号編集・校正(2) 今後の会報作成日程 広報小委員会	竹下理事他 3 委員		
公 协集到	20日	(1) 会報5・6月号第2校校正(2)今後の委員会等日程	竹下理事、岩崎委員長他3委員		
学校歯科医療対策	5月19日 5月18日	県PTA共済審査委員会 (県総合福祉センター) 医療対策委員会	西野監事 富屋理事、岡田委員長他8名		
	5月6日	(1) 事例報告検討(2) 医療対策講演会(3) 委員会提出議題 ほか カルテチェック(口腔保健センター)	留屋建事、岡田安貝交配の石 松岡センター長		
センター・ 介護	19日	センター・介護委員会	松本理事、平井委員長他全委員		
厚生・医療	5月19日	(1) 熊本地震に伴う避難所活動及び施設への口腔ケアの対応 (2) 平成28年度委託事業 厚生・医療管理小委員会 マルボー (2) オンボール (2) オンボール (3) オンボール (3) オンボール (4) オンボール (4) オンボール (5) オンボール (5) オンボール (5) オンボール (6) オンボール (7)	牛島常務理事、宮井理事、工藤委員		
管理 国保組合	5月12日	(1) 診療所被災状況の確認 (2) 震災後の対応 第1回国保理事会	長他1委員 浦田理事長他全役員		
	0 /1121				

会員専用グループ保険のご案内

随時加入 募集中

グループ保険 🛘 団体定期保険 🔳 新医療保障保険団体型

Ⅱ 団体定期保険

充実した保障内容 合理的な 死亡保障 の確保に!

- ① 割安な保険料で高額保障 災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます
- ② 最高75歳まで継続更新可能
- ③ 障害給付金・高度障害保険金も準備されます

最高3000万円の保障(無診査)が 70才まで新設されました

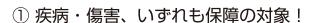
保険金額の増減は毎年自由に 変更できます

○ 35年以上の長期にわたり、熊本県 歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅲ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が 低価格でプラスできます!

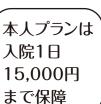


② 入院給付金は1日目からお支払します

③1入院60日限度 通算1,000日分まで保障

- ④ 最高89歳まで継続更新可能
- ⑤ 配偶者・お子様もご加入可能







この保険は当グループ内で1年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局 担当: 奥村 TELO96-343-8020

「家電量販店で先日安く買えたWindows PCですが レセコンメーカーから 指定機種でないと使えないと言われました」

「いいえ お茶コンならそのPCで使えます」

いままでもこれからもコストを考えれば間違いなく「お茶コン」です。

比べてください 最新製品この機能でこの価格



★価格には診療報酬改定時に必要な費用を含みます★

- 紙レセプト・CD-ROM・オンラインすべてに対応
- 導入台数にかかわらず1医療機関1台分しか料金は かかりません
- ネットワーク完全対応 VPN 接続により本院と分院と自宅間でのネットワークが 可能です。
- 割賦支払い終了後は年間保守料金のみで継続使用が可能です
- 過去の疑難解釈を全て網羅した東京医科歯科大学 歯科同窓会監修の「保険情報検索システム IRS」を搭載

平成28年 13:30~16:30

ANAクラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ 2F アンダンテ

平880-8575熊本県熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地 006-354-2111

[隠い合わせ先]

株式会社テクノムラタ 大分支店

TEL: 097-520-6011 〒870-0173 大分県大分市公園通り46-1

製作 東京医科歯科大学歯科同窓会 IT委員会

株式会社テクノムラタお茶コンサポートセンター TEL 03-6279-7241 FAX 03-6279-7241 E-mail technomurata@space.ocn.ne.jp 当日お越しになれない場合には、ご訪問のデモも行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

お茶コン オフィシャルサイト

http://www.ochacom.jp/

お茶コンでは 災害に 強いレセコンを ご提案しています

■印刷所/コロニー印刷

健||



O	主な行事予定

August

17日(水) 第27回常務理事会

24日(水) 第16回理事会



©2010 熊本県くまモン #K6356



熊本県歯科医師会 安心·安全歯科医療推進制度



毎日全国から伝えられる数々のニュース。事件、事故、天災、病気など、自分が当事者にならない限り何もわかってあげられないのだと、今回の熊本地震で痛感しました。熊本は安全で大地震が発生するなど考えもせず、今まで暮らしてきました。14日の揺れもひどかったものの、室内のものが落ちる程度で早々に片付け、土曜日からは仕事だと思っていた矢先の16日未明。まさか自分が避難するとは、食料に困るとは、風呂に困るとは、1週間以上も休診するとは考えてもいませんでした。それでも家屋が全壊された方々や、長期避難を余儀なくされている方々、何より命を落とされた方々の苦しみは未だ分かっていません。私たちは社会の中で生きていますが、十人十色の人生があります。一番大切な命でさえ、その時の運不運で決まることもあります。自分だけは大丈夫と考えがちですが、当たり前の日常が突然奪われ、窮地に立つことも考えなければなりません。今回の地震がもたらした被害の数々を決して他人事とは思わず復興復旧していく気持ちを持つことで、今までより強く、思いやりがある、暖かい心を持った熊本県人に成長できれば、きっと明るい未来が来るはずです。 (A.K)